

コアマモ

Zostera japonica Aschers. et Graebn.

アマモ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー

該当なし

選定理由

普通の種類であるが、かなり減少傾向にある。(現況:V-)

形態

類似しているのはアマモであるが、アマモの葉の長さが50~100cm、葉幅が3~7mmであるのに対して、本種では葉の長さが10~40cm、葉幅1.5~2mmでより小型である。また、葉脈はアマモでは5~7本であるが、本種では3本である。根茎は細く、直径0.5~2mmで各節から、葉を着ける枝か、花序を着ける枝を出す。花序は長さ2cm、縁に葯隔付属突起があり、この点でもアマモと異なる。

国内分布

北海道、本州、四国、九州の海岸に分布。東アジアの亜寒帯~熱帯に広く分布する。

県内分布

内浦区、中能登区。

生態など

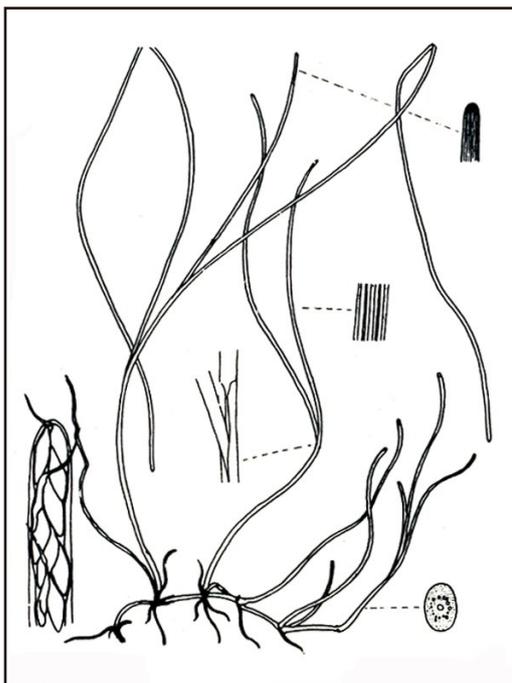
沿岸域の海産沈水植物。

生育環境

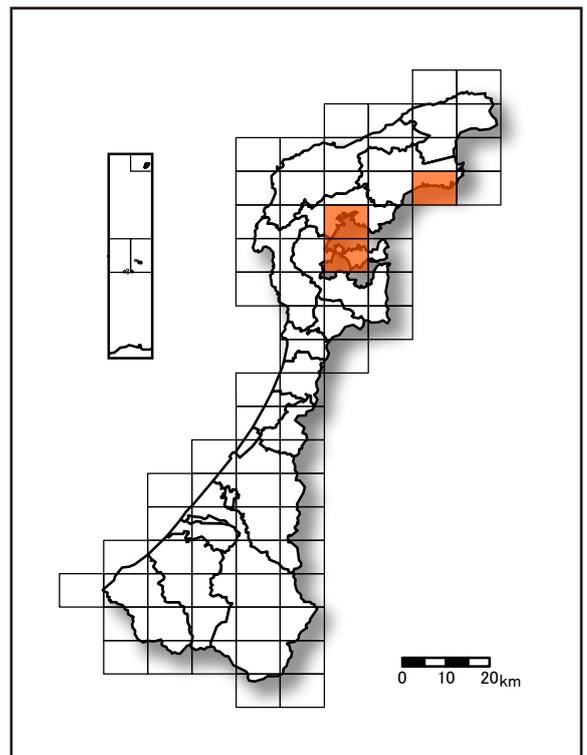
内湾の奥など、干満の差などによっては干上がる可能性もあるような水深の小さな砂・泥の海底に生育。

危険要因

海岸開発(埋め立て)、水質汚濁。



小牧(1987)より引用



県内の分布